

令和6年度 第2回刈谷市入札監視委員会 議事録

1 日時 令和6年11月12日（火） 13:30～15:00

2 場所 刈谷市役所 3階 301会議室

3 出席した委員（委員数4名）

委員長 井戸田 秀樹（名古屋工業大学 大学院教授）

委員長職務代理者 近藤 克麿（公認会計士）

委員 加藤 時彦（弁護士）

委員 國府 華子（愛知教育大学 教授）

4 出席した事務局職員（5名）

星野総務部長、蛇川契約検査課長、神谷課長補佐、稲垣契約係長、新美主査

5 議題及び概要

（1）契約工事の報告について（6月から9月分）

→事務局より説明。

（2）抽出事案の説明について

→抽出案件5件（一般競争入札3件、随意契約2件）を承認。

（3）その他

→事務局より以下の件を報告。

・次回の審査事案の抽出担当者について →井戸田委員に依頼。

・次回の開催日について →第3回 令和7年2月3日（月）

6 主な質疑

質問・意見	回答
<u>議題（１）契約工事の報告について（６月から９月分）</u> Q：（委員）昨年度よりも工事件数が減っている理由は何か。 <u>議題（２）抽出事案の説明について</u> ・ 案件１件目 逢妻川橋他橋りょう補修工事（週休２日） （一般競争入札（総合評価落札方式）、 土木一式工事） Q：（委員）調査基準価格を下回っていても落札候補者にはなれるのか。 Q：（委員）調査基準価格を下回った場合に何を調査するのか。 Q：（委員）調査項目を業者は分かるのか。 Q：（委員）総合評価落札方式の評価項目を見直すことはできるのか。	A：（事務局）全体の予算が減っているが、高額な工事件数は増えているため。 A：（事務局）落札候補者にはなれる。 A：（事務局）会社の資金力や工事機材の保有状況などから、工事を適正に履行できるかを確認する。 A：（事務局）要領で定めており、ホームページにも掲載しているので分かる。 A：（事務局）刈谷市総合評価審査委員会に諮り、見直すことができる。

・ 案件 2 件目 西田住宅他 3 住宅加圧給水ポンプ改修工 事 (一般競争入札、管工事) Q : (委員) 最低制限価格は公表しているか。 Q : (委員) 最低制限価格を下回ったことを 業者は分かるのか。 Q : (委員) 最低制限価格は、どのように決め ているのか。 Q : (委員) 率はどのように決めているのか。 ・ 案件 3 件目 第 R 6 - 5 - 1 号配水管布設工事 (週休 2 日) (一般競争入札 (総合評価落札方式)、 水道施設工事) Q : (委員) 入札で無効となった理由は何か。 Q : (委員) 資料はどのように提出するのか。	A : (事務局) 公表していない。 A : (事務局) 開札の場で伝えており、入札 執行調書にも記載しているので分かる。 A : (事務局) 直接工事費などに決められた 率をかけて算出している。 A : (事務局) 国の基準に合わせて定めてい る。 A : (事務局) 事前に提出する書類が不足し ていたため。 A : (事務局) 電子入札システムで提出する。
---	---

・ 案件 4 件目 青山斎園火葬炉設備改修工事 (随意契約、機械器具設置工事) Q : (委員) 最低制限価格は設けているか。 Q : (委員) 不調となり、2 回目の入札で金額 が下がっている理由は何か。 Q : (委員) レール部分は補修しないのか。	A : (事務局) 設けている。 A : (事務局) 設計内容を変更しており、レ ール部分を外しているため。 A : (事務局) 今回の工事ではない。
・ 案件 5 件目 泉田排水機場改修工事 (随意契約、機械器具設置工事) Q : (委員) 不調となり、2 回目の入札では工 事内容を変更しているのか。 Q : (委員) 排水機場の新築時から関わって いる業者か。 ※ 以上より、抽出案件 1 ～ 5 について、入 札監視委員会として内容を承認すること で決定。	A : (事務局) 変更している。 A : (事務局) そうです。